

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第12号
令和2年6月10日

部活動、再開！

みなさんが心から楽しみにしていた部活動が再開しました。暑い中での久しぶりの運動。すっきりとした気持ちと多少の疲労感があるのではないのでしょうか。

密にならないようにするため、練習場所も思うように使えない中でも、はつらつとした姿がありました。一生懸命ボールを追いかける姿、黙々と自分の練習に取り組む姿—どの部活動も今できる練習を真剣に、かつ楽しみながら頑張っていましたね。部活動によっては、キャプテン自ら「手を洗った？」など、「高西中版新しい生活様式」を意識して部員に声をかける姿も見られました。本当に素晴らしい！！さすがキャプテン、みんなをしっかりと引っ張っていますね。1年生の体験入部が始まり、後輩たちを気遣う姿も多々見られました。

帰る頃には水分がなくなっている人もいたようです。「楽しい」が先立つと、自分のしんどさに気づかないことがあります。タオル、水分は例年以上に持つてくると、そして何より無理をしないことを一人一人心がけて部活動をしていきましょう。

【部活動の様子】



5つの「きく」～しっかり「きいて」いますか？～

授業中。みなさんは人の話を「きいて」いますか？耳、目、そして心を向けてきいていますか？

ぼーっとしているうちに授業が終わってた…ということはありませんか？あるいは、「ノートさえ書いていれば、ちゃんと授業を受けていると思っている人はいませんか？

高西中学校で育てたい「資質・能力」を授業も含めたあらゆる場で意識していこうと先日話をしました。それらの力をつけていく土台となる力—それが「きく」力です。話を聞いて、相手の話す内容や表現を吸収したり、言葉の力を感じたりすることが大切です。それが、思考力を高め、理解力を深めていきます。

さて、「きく」という言葉には5つの漢字が当てはまります。みなさんはいくつ思い浮かべることができるでしょうか。

聞く…耳に受ける。耳に感じ取る。

聴く…注意して耳にとめる。

耳を傾ける。

訊く…尋ねる。質問する。問う。

利く…役に立つ。十分に発揮する。

効く…効き目がある。

効果や働きなどが表れる。

よい結果が実現する。



つまり、「耳に入ってきた言葉を感じ取る、音を受ける」の「聞く」から、「注意して耳で受け止める」の「聴く」へ、そして、「頭、体、心に尋ねる」の「訊く」を積み重ねていくことで、「聞き」、「聴き」、「訊いた」ことが「役に立つ、十分に発揮される」の「利く」につながります。さらに、それが「効き目がある、よい結果が実現する」の「効く」になるのです。「聞く・聴く・訊く」はみなさんの力を伸ばす養分なのです。しっかりと「きき」、自分自身をどんどん成長させていきましょう。